

第 6 章

道 路 課

やさしく そして力強く
21世紀へトライする
交流ネットワークの形成
(秋田県道路整備の基本理念)



(平成 3 年 7 月開通、東北横断自動車道釜石秋田線秋田南 I C 付近)

1. 事務分掌
2. 道路の概要
3. 道路事業費
4. 道路整備の目標
5. 平成 4 年度主要事業

1. 事務分掌

区 分	事 務 分 掌	人 員	備 考
総 務 担 当	1. 人事、給与、厚生、文書収受 2. 議会、予算、決算、配当 3. 工事経理、工事の発注及契約 4. 財産管理、各種協定、調査 5. 各種団体 課内の連絡調整に関する事	6	
路 政 担 当	1. 道路法、有線、道路保険、訴訟に関する事 2. 路線の認定、廃止及び変更に関する事 3. 道路の区域の決定及び変更に関する事 4. 道路の占用許可、車両制限に関する事 5. 道路台帳、各種調査に関する事	3	
企 画 担 当	1. 調査、企画調整 2. 広報、公聴、陳情等の処理 3. 総合発展計画の進行管理	4	
高速道路担当	1. 高速自動車道の整備	3 (4)	
防雪施設担当	1. 除雪及び消融雪施設整備 2. 雪寒地域道路整備 3. 建設機械	3	(7)
維持交通安全施設担当	1. 維持修繕及び管理 2. 災害防除、環境、側溝整備 3. 交通安全施設等整備事業 4. 大規模自転車道整備事業	3	
市町村道担当	1. 市町村道事業の指導 2. 県代行、一般補助、交付金事業 3. ふるさとづくり特別対策、地域づくり事業、農政関連事業、住宅宅地関連事業 4. 各種調査、指定、代行業業の告示	3	(6)
舗 装 担 当	1. 舗装新設、補修、特三、特四 2. 交付金事業 3. 簡易舗装改築、維持修繕	2	
改 良 担 当	1. 国道及び地方道改良 2. 国道及び地方道特一 3. 交付金事業 4. 地域づくり事業、ふる特事業	3	(6)
橋 梁 担 当	1. 国道及び地方道の橋梁整備 2. 橋梁の補修、塗装 3. 交付金事業、震災対策橋梁調査費等	2	

2. 道路の概要

本県は、東京都・埼玉県・千葉県を合わせた面積を更に上回る総面積 11,612.9km²、南北 181km、東西 111kmの大県で、県境を奥羽山脈と那須火山帯が縦走し、また南北を分断する形で出羽山地があり、可住地面積割合も 26.6%と全国 32%に比べ下回っている。

このような地域特性から、県内の道路は主に日本海沿いの秋田平野、雄物川沿いの横手盆地また米代川沿いの大館鷹巣盆地・能代平野に集中しており、山地部においてはその地形的障害から道路そのものが少なく、道路網密度は全国都道府県中 45 位ときわめて低い状況にある。

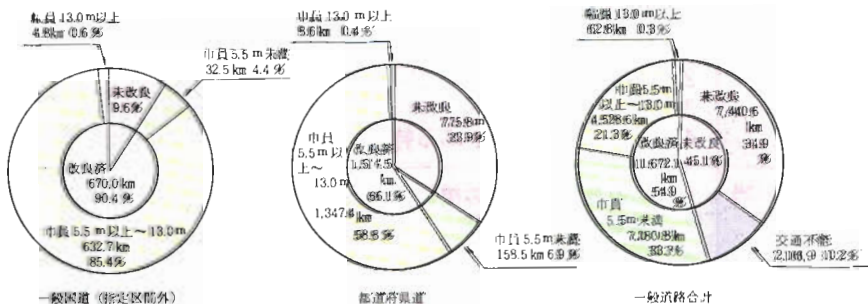
しかしながら多極分散型の国土を形成するための根幹となる東北縦貫自動車道弘前線が、昭和 61 年 7 月に県北部を全通し、ようやく本県も高速時代を迎え、平成 3 年 7 月 25 日には、県都秋田市に乗り入れる県民待望の東北横断自動車道釜石秋田線、秋田横手間 56.1kmが開通しており、平成 3 年度からの新発展計画では、交通体系の整備を第一に掲げ実施している。

(1) 道路の現況

① 改良済・未改良別延長

(道路統計年報1991)

道 路 区 分		副 員 実延長 (km)	改 良 済				未 改 良		
			13.0 m 以 上	5.5m以上 ～ 13.0m	小 計	5.5 m 未 満	計	未改良 延 長	内自動 車交通 不能
高速自動車国道		41.8	41.8	—	41.8	—	41.8	—	—
一 般 道 路	指定区間	384.6	27.5	357.1	384.6	—	384.6	—	—
	指定区間外	741.3	4.8	632.7	637.5	32.5	670.0	71.3	—
	合 計	1,125.9	4.8	989.7	1,022.1	32.5	1,054.6	71.3	—
	都道府県道	1,061.0	7.6	689.5	697.2	75.6	772.8	288.2	36.3
	一般県道	1,229.2	0.9	657.9	658.9	82.9	741.7	487.5	29.7
	合 計	2,290.3	8.6	1,347.4	1,356.0	158.5	1,514.5	775.8	66.0
	国・県道計	3,416.2	40.9	2,337.2	2,378.1	191.0	2,569.1	847.0	66.0
	市町村道	17,863.5	21.8	2,191.4	2,213.2	6,889.8	9,103.0	8,760.5	2,100.9
合 計		21,279.7	62.8	4,528.6	4,591.4	7,080.8	11,672.1	9,607.5	2,166.9
総 合 計		21,321.5	104.7	4,528.6	4,633.2	7,080.8	11,714.0	9,607.5	2,166.9

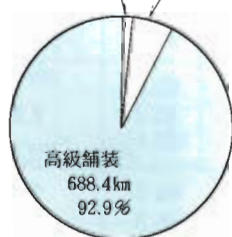


② 路面種別・構造種別延長

(道路統計年報1991)

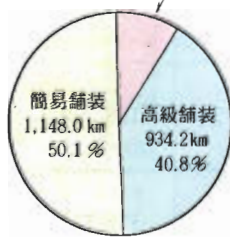
道路区分	種別 実延長 (km)	路面別延長 (km)				種類別延長 (km)		
		高級 舗装	簡易 舗装	未舗装		土工 延長	橋梁 延長	トンネル 延長
高速自動車国道	41.8	41.8	—	—		32.8	3.9	5.2
一般国道	指定区間	384.6	384.6	—	—	367.5	11.3	5.8
	指定区間外	741.3	688.4	50.6	2.4	711.9	21.2	8.3
	合計	1,125.9	1,072.9	50.6	2.4	1,079.3	32.5	14.1
	都道府県道	1,061.0	551.5	441.4	68.2	1,042.6	16.9	1.5
	主要地方道	1,229.2	382.8	706.6	139.9	1,208.7	20.0	0.6
	一般県道	1,229.2	382.8	706.6	139.9	1,208.7	20.0	0.6
	合計	2,290.3	934.2	1,148.0	208.1	2,251.2	36.9	2.2
	国・県道計	3,416.2	2,007.2	1,198.5	210.4	3,330.6	69.4	16.2
市町村道	市町村道	17,863.5	1,107.0	7,555.7	9,200.9	17,758.5	100.7	4.3
	合計	21,279.7	3,114.2	8,754.2	9,411.3	21,089.0	170.1	20.5
	総合計	21,321.5	3,156.0	8,754.2	9,411.3	21,121.8	174.0	25.7

未舗装 2.4km 0.3%
簡易舗装 50.6km 6.8%



一般国道（指定区間外）

未舗装 208.1km 9.1%
簡易舗装 1,148.0km 50.1%
高級舗装 934.2km 40.8%



都道府県道

③ 道路普及率

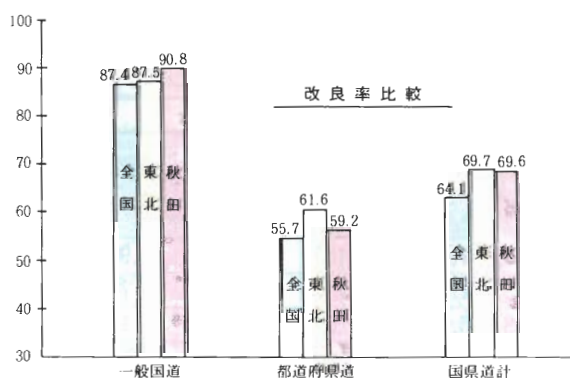
本県の道路整備の現状は、国県道においては改良率・舗装率・整備率とも全国平均を上回っているが、市町村道も含めた県全体の舗装率は全国 47 都道府県中 40 位、また道路網密度も 45 位と大幅に下回っている。このため、都市内の交通渋滞や地方部ではすれちがいができないなど、量・質的にもまだまだ満足できる状況ではない。

道路普及率比較表（道路統計年報1991）

ブロック別	面積 A (km ²)	総人口 B (千人)	国県道 延長 C (km)	道路網 密度 C/A (m/km ²)	千人当り 道路延長 km C/B	道路面積 D (km ²)	道路率 D/A (%)
全 国	377,727	123,612	175,717.6	465	1.42	5,974.46	1.58
東 北	66,971	9,738	23,931.7	357	2.45	767.25	1.14
秋 田 県	11,613	1,227	3,416.2	299	2.78	110.83	1.03
都道府県順位	6 位	33 位	24 位	45 位	7 位	24 位	45 位

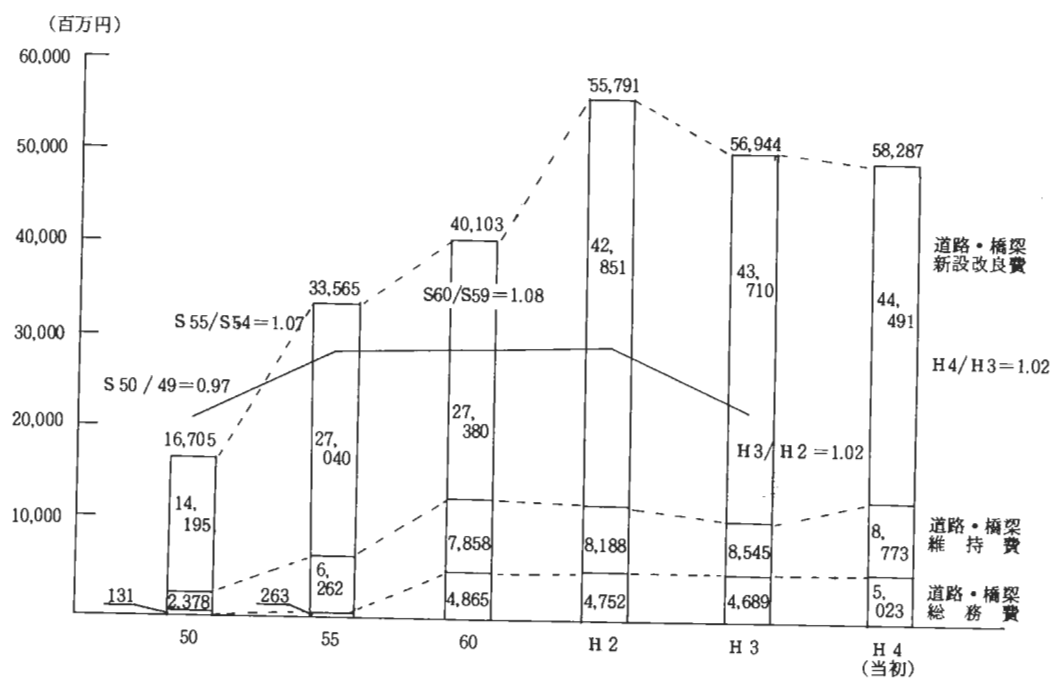
道路改良率・舗装率・整備率比較表（東北道路ポケットブック1991）

道路区分			全 国		東 北		秋 田	
			実延長 (km)	改良率 舗装率 整備率	実延長 (km)	改良率 舗装率 整備率	実延長 (km)	改良率 舗装率 整備率
一 般 道 路	一 般 国 道	指 定 区 間	20,579.8	99.6 98.2 50.4	2,544.0	99.9 100.0 45.1	384.6	100.0 100.0 50.0
		指定区間外	26,355.5	77.8 78.6 58.1	4,894.4	66.7 77.5 71.5	741.3	86.0 92.9 73.6
		合 計	46,935.3	87.4 87.2 54.8	7,438.4	87.5 85.2 62.4	1,125.9	90.8 95.3 65.6
	都 道 府 県 道	主要地方道	50,354.1	66.1 60.1 51.3	6,882.3	73.8 58.4 66.1	1,061.0	65.7 52.0 60.2
		一 般 都道府県道	78,428.2	49.0 39.2 42.7	9,610.9	52.9 37.4 50.7	1,229.2	53.6 31.1 52.4
		合 計	128,782.3	55.7 47.3 46.1	16,493.3	61.6 46.2 57.1	2,290.3	59.2 40.8 56.0
	国・県道計		175,717.6	64.1 58.0 48.4	23,931.7	69.7 58.3 58.8	3,416.2	69.6 58.8 59.2
	市 町 村 道		934,319.0	43.3 14.9 43.3	119,756.2	44.8 7.9 44.9	17,863.5	51.0 6.2 51.0
	合 計		1,110,036.6	46.6 21.8 44.1	143,687.8	49.0 16.3 47.8	21,279.7	54.0 14.6 52.3



3. 道路事業費

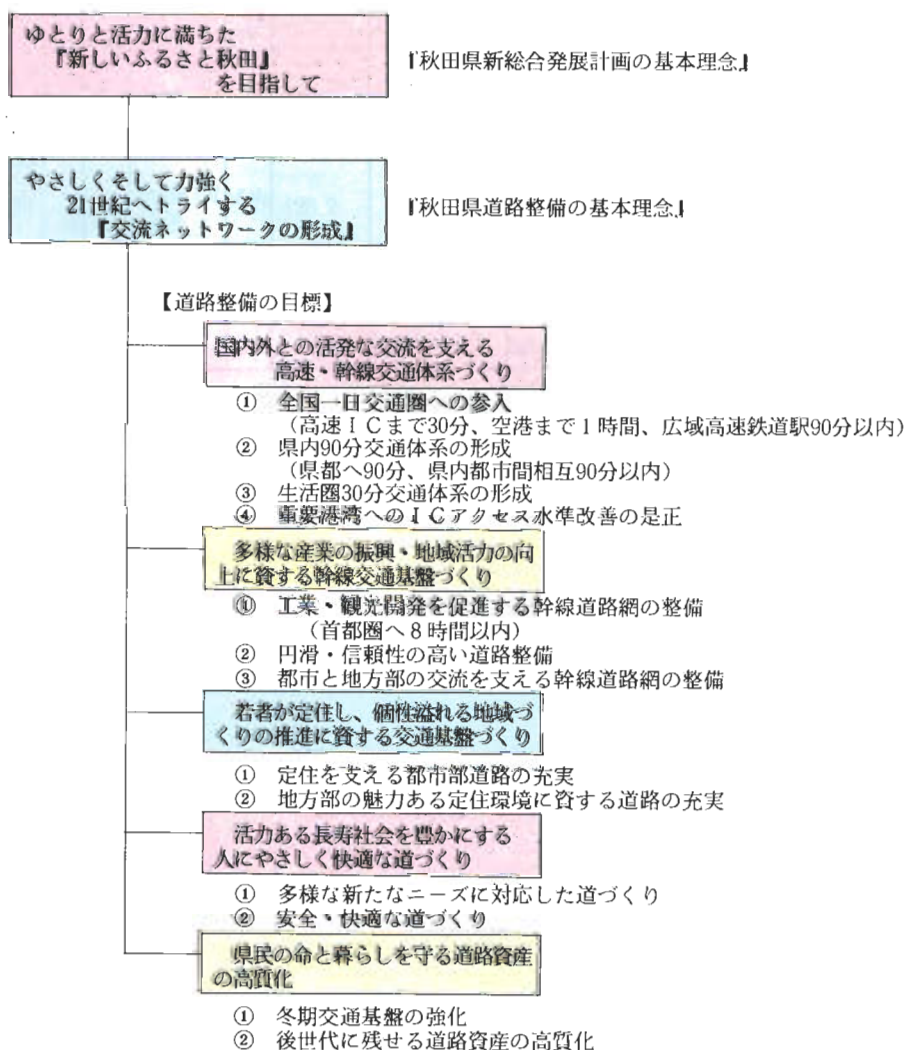
道路事業費の推移



4. 道路整備の目標

道路整備の将来像は、21世紀初頭を見据えた長期的な観点から総合的な道路交通体系の目標を示すものであるが、その目標は単に個々の道路整備にとどまらず、本県の持つ潜在的な成長力を十分に発揮させ、来るべき21世紀に向けて活力に満ち溢れた新しいふるさと秋田を実現させるための基盤づくりとして、交流ネットワークづくりを目指すこととしている。

この認識を踏まえ、本県の道路整備の長期ビジョンは、『やさしく力強く21世紀へトライする交流ネットワークの形成』を基本理念とし、この基本理念の具体化を図るための道路整備の目標は下記のとおりである。



1

全国一日交通圏への参入
（全国片道概ね3時間
複数的高速交通へ1時間）



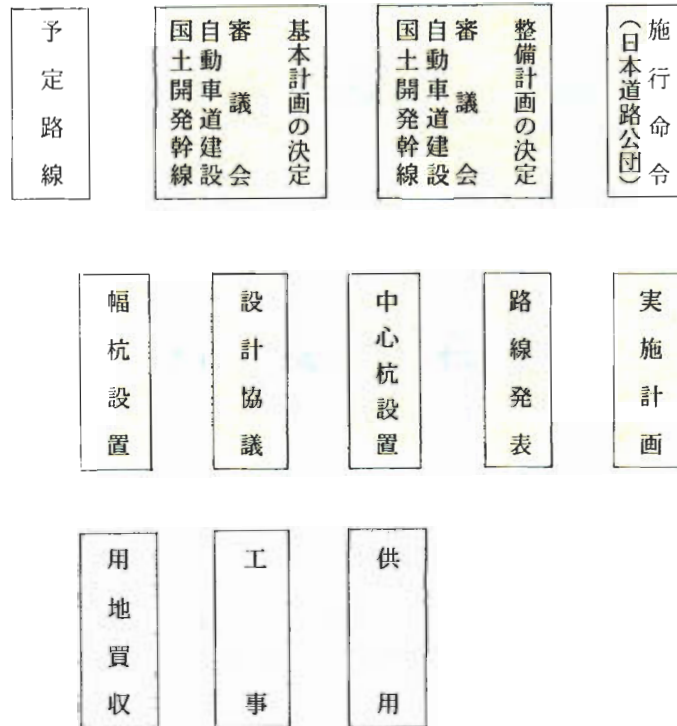
2

県内部分交通
体系の形成

凡 例

- | 国土開発幹線自動車道 | |
|------------|---------|
| | 供 用 区 間 |
| | 整備計画区間 |
| | 基本計画区間 |
| | 予定路線区間 |

高速道路ができるまで



高規格幹線道路網計画とは

建設省において昭和 62 年 6 月 26 日の道路審議会答申に基づき、高規格幹線道路網計画を決定しました。(昭和 62 年 6 月 30 日)

高規格幹線道路は、自動車的高速交通の確保を図るため必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路をいいます。(既定の国土開発幹線自動車道等及び本州四国連絡道路は高規格幹線道路網の一部をなすものです。)

この高規格幹線道路網計画を受け国土開発幹線自動車建設法の予定路線の法律改正が行われ(昭和 62 年 9 月 1 日公布施行)新たに高規格幹線道路の一部が国土開発幹線自動車道の予定路線に追加されました。なお、残りの高規格幹線道路は一般国道の自動車専用道路として整備を推進することになりました。

新たに高規格幹線道路網を構成する路線一覧表

昭和62年6月30日

路 線	区 間	主要経過地	概算延長 (km)	国幹道自 専道の別	国幹道への 編 入 名
日本海沿岸縦貫 自動車道	新 潟 境～青 森	山形県(鶴岡市付近) 秋田県(酒田市付近) 秋田県(秋田市付近) 秋田県(能代市付近) 青森県(大館市付近)	250	国 幹 道	日本海沿岸 東北自動車道
津 軽 自 動 車 道	青 森～鯉ヶ沢	青森県	40	自 専 道	
東北縦貫自動車道 八 戸 線 延 伸	八 戸～青 森	青森県(三沢市付近)	80	国 幹 道	東北縦貫自動 車道八戸線
北東北横断自動車道	花 巻～釜 石	岩手県(遠野市付近)	80	"	東北横断自動 車道釜石秋田線
三陸縦貫自動車道	仙 台～宮 古	宮城県(石巻市付近) 岩手県(釜石市付近)	220	自 専 道	
八戸・久慈自動車道	八 戸～久 慈	青森県、岩手県	50	"	
東北中央縦貫自動車道	相 馬～横 手	福島県(福島市付近) 山形県(米沢市付近) 山形県(山形市付近) 秋田県(新庄市付近)	260	国 幹 道	東北中央自動 車道
常盤自動車道延伸	いわき～仙 台	福島県(相馬市付近) 宮城県	150	"	常盤自動車道
合 計	—	—	1,130	国幹道 820km 自専道 310km	

注 国幹道：国土開発幹線自動車道

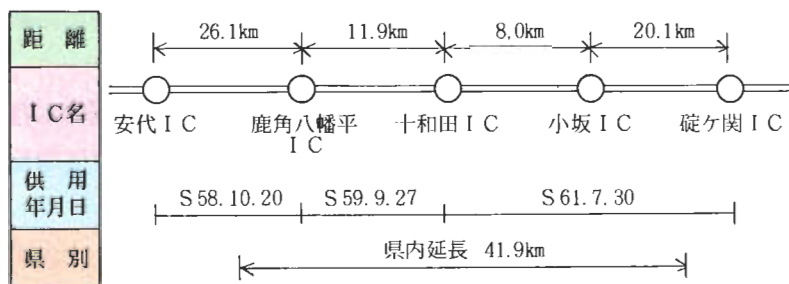
自専道：一般国道の自動車専用道路

高規格幹線道路の整備状況

① 東北縦貫自動車道 引前線

○ 東京都～青森市 697km

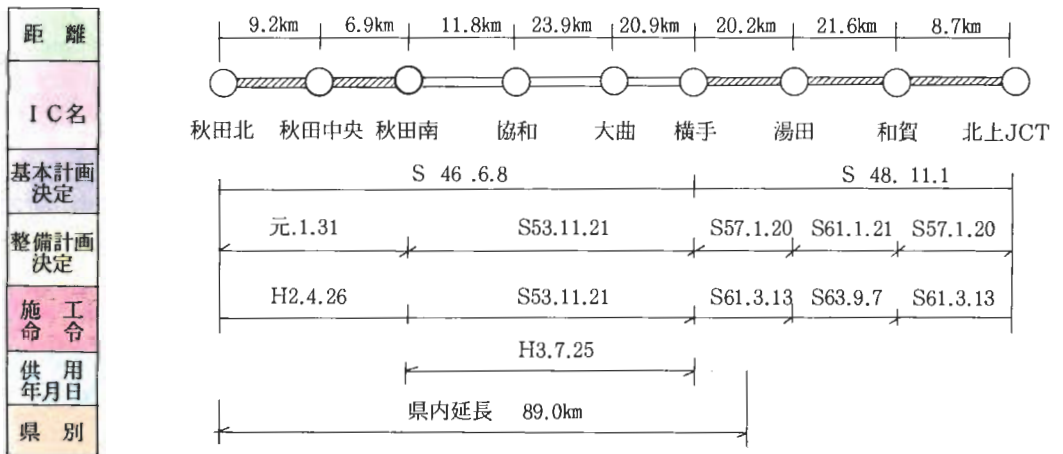
内、川口 IC～青森 IC 間開通 679.5km



注) 小坂 IC は
H 2. 10. 12 供用

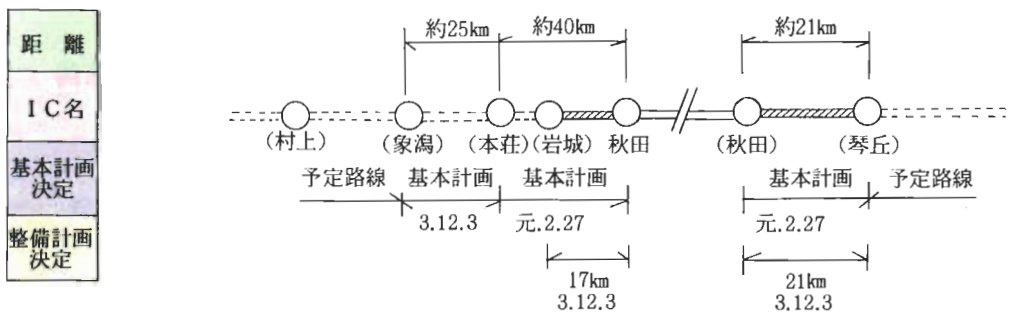
② 東北横断自動車道 釜石秋田線

○釜石市～秋田市 203km



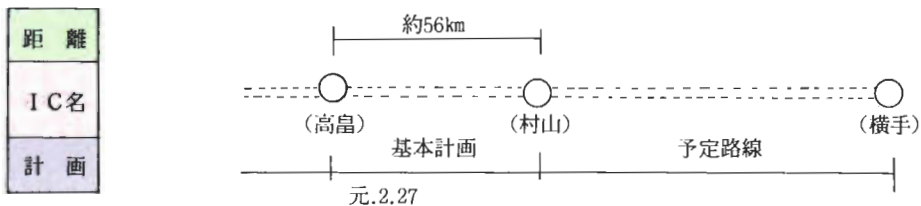
③ 日本海沿岸東北自動車道

○新潟市～青森市 約340km (県内分約190km)



④ 東北中央自動車道

○相馬市～横手市 約260km (県内分約40km)



一般道路の整備

4 産業の振興、地域の活性化や国際化、定住の推進に資する交通体系の整備

3 生活圏30分交通体系の整備

5 安全性、快適性と信頼性、代替性の確保

6 生活交通の維持、確保、円滑化



5. 平成4年度主要事業

国内外との活発な交流を支える
高速・幹線交通体系づくり

【高規格幹線道路及びIC周辺開発に資するアクセス道路の整備】

- | | |
|--------------|--------------|
| ①国道103号大館南工区 | ②国道105号矢立峠工区 |
| ③国道107号奥ヶ沢工区 | ④国道108号川井工区 |
| ⑤国道108号松ノ木工区 | ⑥国道341号長嶺工区 |
| ⑦国道285号南沢工区 | ⑧国道285号山内工区 |
| ⑨大館十和田湖線雪沢工区 | ⑩和田秋田線柳館工区 等 |

多様な産業の振興・地域活力の向
上に資する幹線交通基盤づくり

【北緯40°シーゾナルリゾートあきた関連整備】

- | | |
|--------------|--------------------|
| ①国道105号米内沢工区 | ②国道105号鷹巣工区 |
| ③国道341号長嶺工区 | ④小滝阿仁前田停車場線鷺ノ瀬工区 等 |

【秋田テクノポリス関連整備】

- ①秋田昭和線手形工区 等

【出羽丘陵地域開発関連】

- | | |
|---------------------|--------------|
| ①国道107号奥ヶ沢工区 | ②国道108号松ノ木工区 |
| ③仁賀保矢島館合線軽井沢・院内工区 等 | |

【西栗駒観光開発関連】

- | | |
|-------------|-----------------|
| ①国道108号川井工区 | ②国道108号秋の宮工区 |
| ③国道398号大湯工区 | ④湯沢栗駒公園線三途川工区 等 |

若者が定住し、個性溢れる地域づ
くりの推進に資する交通基盤づくり

【マイロード事業】

- ①湯沢栗駒公園線三途川橋

活力ある長寿社会を豊かにする
人にやさしく快適な道づくり

- ①秋田男鹿線蒲沼工区

- ②交通安全整備事業 等

県民の命と暮らしを守る道路資産
の高質化

- ①道路災害防除事業

- ②雪寒地域道路事業 等